



FUJITSU

スタートアップガイド

快速! 日本語入力ユーティリティ

Japanist
ジャパニスト

2003

ごあいさつ

このたびは Japanist 2003 をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本書は、Windows 上での日本語入力環境をトータルにサポートするユーティリティソフト
「Japanist 2003」のセットアップ方法などについて説明しています。Japanist 2003 を
セットアップされる前に、必ずお読みください。
本書が皆様のお役に立つことを願っております。

2003年2月

- Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品を無断でディスクやテープその他に複製する事は、法律で禁じられています。
- その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved. Copyright© 富士通株式会社 2003

本書の表記について

本文中のマーク



：操作をしていてミスしやすいことや、注意事項をまとめてあります。



：操作に関連する事柄や、参考として知っておいていただきたいことを説明しています。

ボタンやキーの表記

画面に表示されるボタン、アイコンなどは、次のように [] で囲んで表現しています。

例 [OK]、[次へ] など

キーボードで押すキーは、次のように 【 】 で囲んで表現しています。

例 【Enter】 【→】 など

画面の例

操作手順中の画面例は、必要な部分だけを載せています。なお、本書に記載されている画面は一例で、Windows 98の例を載せています。お使いの機種やシステムにより、表示される画面が多少異なる場合があります。ご了承ください。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名を、次のように略して表記します。

- ・ Microsoft® Windows® Millennium Edition を「Windows Me」と表記します。
- ・ Microsoft® Windows® 98 operating system と Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION を「Windows 98」と表記します。
- ・ Microsoft® Windows® XP Home EditionおよびMicrosoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition を「Windows XP」と表記します。
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional と Microsoft® Windows® 2000 Server を「Windows 2000」と表記します。
- ・ Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 と Microsoft® Windows NT® Server network operating system Version 4.0 と Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0, Terminal Server Edition を「Windows NT 4.0」と表記します。
 - ※ 「Windows Me」「Windows 98」「Windows XP」「Windows 2000」「Windows NT 4.0」のすべてを指す場合は、「Windows」と表記します。
- ・ Japanist 2003 を Japanist と表記します。

Japanist のご紹介

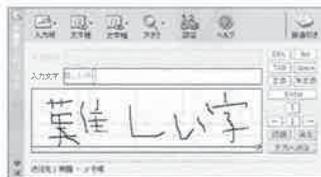
手書きで文字を入力(手書き入力パネル)

手書き入力パネルを使うと、鉛筆で紙に文字を書くように、枠なしの自由なエリアに文字を書けます。

Tablet PC をお使いの場合はもちろん、キーボードが苦手な方に最適な入力パネルです。個人の字形や筆順を学習するので、使えば使うほど認識率がアップします。

操作方法 1

- ① 文字を入力するアプリケーションを起動する。
- ② 「筆跡入力枠」に、ペンやマウスで文字を続けて書く。
- ③ **認識** をクリック。
「入力文字」に認識結果が表示されます。
認識 をクリックしなくても、一定時間たつと認識されます。
- ④ **アプリへ送信** をクリック。
アプリケーションに文字が貼り付けられます。



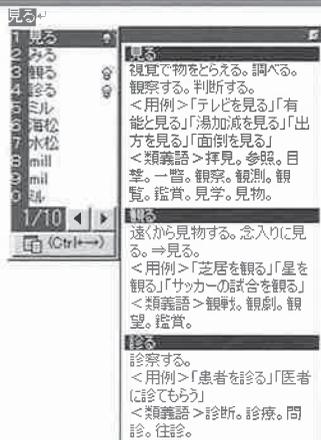
迷ったときにヒントを活用(ヒント情報)

類義語や単語の使い分けに迷ったときなどは、ヒント情報を活用しましょう。

変換中の  マークが付いている候補で一定時間たつと、Japanist がヒント情報を自動で表示してくれます。

操作方法 2

- ① 「みる」と入力する。
- ② **【変換】** を何回か押して、「見る」にカーソルを移動する。
一定時間たつと右側にヒント情報が表示されます。
- ③ ヒント情報で選択したい語句がある場合は、見出し部分をクリック。

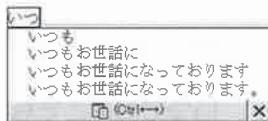


入力予測で素早い入力

一度確定した文字列は予測候補から選ぶだけ

例えば、「いつもお世話になっております。」と入力して、確定すると、次に「いつ」と入力しただけで、予測候補がリストに表示されます。あとは、リストから選ぶだけで、「いつもお世話になっております。」が入力できます。

特別な設定は不要です。Japanist が確定したことばを覚えていきます。



操作方法③

- ①「いつもお世話になっております。」と入力して、確定する。
- ②「いつ」と入力する。
予測候補がリストに表示されます。
- ③【↓】、【↑】(【Ctrl】+【変換】、【Ctrl】+【無変換】)で選んで、【Enter】を押す。

おてがる登録と組み合わせて、自動登録した単語を予測候補に表示

入力予測は、自分で確定した文字列を表示するだけではありません。

OASYS 文書をはじめ、Word や Excel、テキストなどの文書から、よく使われている単語を自動で抽出し、登録できます。

ホームページのお気に入りや履歴などからも単語を抽出して登録できます。

登録した単語は、予測候補のリストに表示されます。最初の2文字を入力するだけで、リストから選択できます。



操作方法④

- ① [スタート]-[プログラム] (Windows XP では [すべてのプログラム])-[Japanist 2003]-[おてがる登録]-[文書から単語を一括登録]をクリック。
- ② 「文書ファイル」または「Web ページ」を選択し、[開始]をクリック。
- ③ 登録する文書、または、登録するページを選択し、[登録]をクリック。
- ④ 入力予測に関するメッセージを確認して、[OK]をクリック。
- ⑤ 処理が終わったら [OK] をクリックし、さらに [閉じる] をクリック。
辞書ツールキットで、単語の修正や削除が行えます。
- ⑥ 操作方法③と同じように、予測候補リストから選択して利用する。

入力中にインターネットで検索する

文書を作成中に何かの情報を知りたいと思ったときに活用できるインターネット。検索したい言葉を入力して、[インターネット検索]を利用すれば、わざわざブラウザを起動して検索する必要はありません。

操作方法8

- ① 検索したい言葉のよみを入力、変換する。
- ② 確定前に[Ctrl]+[→]を押す。
- ③ ブリッジメニューから[インターネット検索]-[Yahoo! JAPAN]を選択し、[Enter]を押す。
お使いのブラウザが起動し、選択した検索サイトで検索された結果が表示されます。



おてがる登録と組み合わせて、プログラムを起動する/ホームページを開く/メールを出す

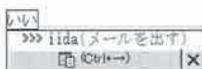
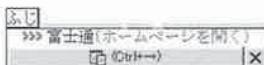
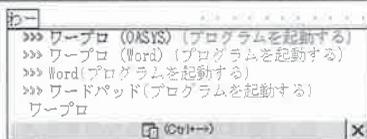
おてがる登録の一括登録を活用すれば、よみを入力してリストから選択するだけで、いつでもプログラムを起動することができます。例えば、「わー」と入力すると、予測候補リストに登録されたプログラム名が表示されるので、ここから、起動するプログラムを選択します。プログラムを起動するほかにも、ホームページを開いたり、メールを出したりすることもできます。

入力予測から選択して実行するほかに、ブリッジメニューから実行することもできます。

操作方法9

- ① [スタート]-[プログラム] (Windows XP では[すべてのプログラム])-[Japanist 2003]-[おてがる登録]-[起動プログラムを一括登録]をクリック。
- ② 「プログラムメニューから一括登録する」、「デスクトップアイコンから一括登録する」をチェックし、[登録]をクリック。
- ③ 入力予測に関するメッセージを確認して、[OK]をクリック。
- ④ 処理が終わったら[OK]をクリック。
辞書ツールキットで、データの修正や抹消が行えます。
- ⑤ 「メモ帳」や「電卓」など使いたいプログラムのよみを入力する。
- ⑥ 予測候補リストで[↓][↑]を押して選んで、[Enter]を押す。

* ホームページアドレスやメールアドレスを登録する場合は、手順①で [ホームページアドレスを一括登録] [電子メールアドレスを一括登録]を選択します。



親指シフトキーボードとして使う(快速親指シフト)

106/109日本語キーボードを親指シフトキーボードの配列にして使うことができます。親指シフト専用キーボードでなくても、手軽に親指シフト入力が行えます。

操作方法 10

- ①入力モードの▼をクリックし、拡張表示にする。
- ②入力モードのをクリック。
- ③動作環境を変更する旨のメッセージを確認し、[はい]をクリック。
- ④「快速親指シフトを使用する」をクリック。
- ⑤親指シフトに関する設定の確認で、[OK]をクリック。
- ⑥動作環境ダイアログで[OK]をクリック。

豊富なオプション辞書

標準の辞書以外に、いまだきの言葉や、顔文字、ビジネス・経済用語など複数のオプション辞書を用意しています。

例えば、「いまだきの言葉」をチェックすると、「けいたい」が「ケータイ」に、「異体字」をチェックすると、「田邊さん」も「田邊さん」に変換できるようになります。



操作方法 11

- ①[スタート]-[プログラム](Windows XPでは[すべてのプログラム])- [Japanist 2003]-[辞書ツールキット]をクリック。
- ②「オプション辞書」の中の見たい辞書名の前の□をチェック。
- ③辞書ツールキットのをクリック。

インターネットから新機能は無償ダウンロード

製品の修正モジュールや句の素材のクリップアート、オプション辞書などを、次々とWebに公開していきます。ダウンロードして、Japanistの環境に組み込むことができます。

操作方法 12

- ①[スタート]-[プログラム](Windows XPでは[すべてのプログラム])- [Japanist 2003]-[インターネットアップデート]をクリック。
お使いのブラウザが起動します。
これ以降は、ホームページの案内に従って、データをダウンロードします。

CONTENTS

ごあいさつ

本書の表記について

Japanist のご紹介

1	必要なハードウェア・ソフトウェア	8
2	セットアップする	9
3	環境を移行する	16
4	セットアップした機能を削除する（アンインストール）	20
5	オンラインヘルプを使う	22
6	OASYSキーボード（KB611, KB621, BIBLO, LIFEBOOK）／親指シフトキーボード（KB211）を使う	24
	OASYSキーボード（実行付）をWindows 98/Windows Meでお使いの場合	25
	OASYSキーボード（実行付）をWindows XPでお使いの場合	27
	OASYSキーボード（実行付）をWindows 2000でお使いの場合	29
	OASYSキーボード（実行付）をWindows NT4.0でお使いの場合	30
	親指シフトキーボード（実行なし：KB211）をWindows XPでお使いの場合	32
	親指シフトキーボード（実行なし：KB211）をWindows 2000でお使いの場合	32
	親指シフトキーボード（実行なし：KB211）をWindows NT4.0でお使いの場合	33
	Japanistの動作環境を変更する	34
	106/109日本語キーボードへ戻す（Windows 98/Windows Meの場合）	35
	106/109日本語キーボードへ戻す（Windows XPの場合）	36
	106/109日本語キーボードへ戻す（Windows 2000の場合）	37
	106/109日本語キーボードへ戻す（Windows NT4.0の場合）	38

① 必要なハードウェア・ソフトウェア

Japanistをお使いいただくには、パッケージに入っているもの以外に、次のハードウェア・ソフトウェアが必要です。

Windows が動作可能なパソコン

CPU Pentium 以上を推奨。使用する OS が稼動する機種。

OS

「Windows Me」、 「Windows 98」、 「Windows XP」、 「Windows 2000」、 「Windows NT 4.0 (SP4 以上)」 のいずれかが必要です。

メモリ容量

Windows Me	32MB 以上 (OS を含む) 64MB 以上推奨
Windows 98	18MB 以上 (OS を含む) 32MB 以上推奨
Windows 98 (SECOND EDITION)	26MB 以上 (OS を含む) 32MB 以上推奨
Windows XP	64MB 以上 (OS を含む) 128MB 以上推奨
Windows 2000 (Professional)	32MB 以上 (OS を含む) 80MB 以上推奨
Windows 2000 (Server)	128MB 以上 (OS を含む) 272MB 以上推奨
Windows NT4.0 (Workstation, Server)	20MB 以上 (OS を含む) 32MB 以上推奨
Windows NT4.0 (Terminal Server)	32MB 以上 (OS を含む) 64MB 以上推奨

※セッション毎に 8 ~ 16MB の追加が必要

ハードディスクの空き容量

標準セットアップ

： 約 180MB

カスタムセットアップ*

： 約 33MB ~ 約 180MB

Japanist 2003

約 33MB ~ 約 63MB

メディアパネル

約 904KB ~ 約 59MB

辞典セット

約 4MB ~ 約 57MB

*カスタムセットアップでは、Japanist の各機能やメディアパネル、辞典セットの各種辞典をセットアップするかどうかによって必要な容量が異なります。これらの機能については、P.11、P.12 を参照してください。

② セットアップする

JapanistのプログラムをCD-ROMからセットアップします。
セットアップを行う前に、他のアプリケーションはすべて終了させてください。

1 CD-ROM ドライブに Japanist の CD-ROM をセットします。

自動的にセットアッププログラムが起動され、セットアップを開始するためのダイアログが表示されます。



自動的に起動されない場合は、「スタート」ボタンをクリックして、「[ファイル名を指定して実行]」を選択し、「名前」に次のように入力して、「[OK]」をクリックします。

E:\install.exe

↑ (CD-ROM ドライブがEの場合)



セットアッププログラムが起動されたあと、セットアップ準備中のダイアログが表示される前に、「Windowsの再起動」ダイアログが表示されることがあります。この場合、「再起動」をクリックして、Windowsを再起動してください。

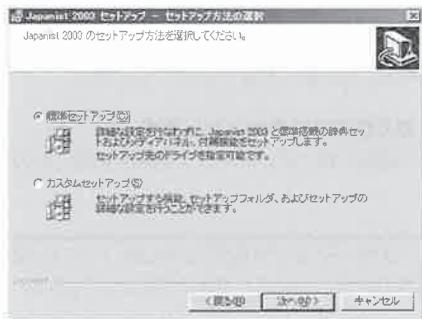
またこのときに、ネットワークの環境や装置の環境により、セットアップが正常に動作しないことがあります。その場合は、セットアップのエラー終了後、再度セットアップを実行してください (Windowsの再起動ダイアログは表示されず、セットアップを実行できます)。

2 「次へ」をクリックします。



3 「標準セットアップ」または「カスタムセットアップ」を選択して、[次へ] をクリックします。

「標準セットアップ」を選択した場合は手順4へ、「カスタムセットアップ」を選択した場合は手順5へ進んでください。



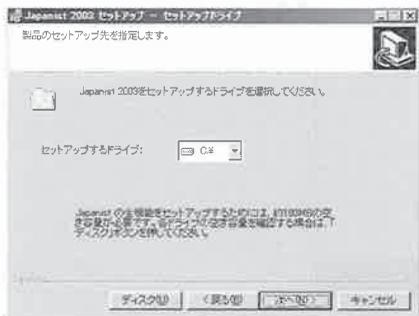
「標準セットアップ」について

- ・ Japanist 2003 や俊敏辞典を除く付属機能、メディアパネル、辞典セットがすべてセットアップされます。
- ・ Japanist の動作モードが「Unicode モード」に設定されます。

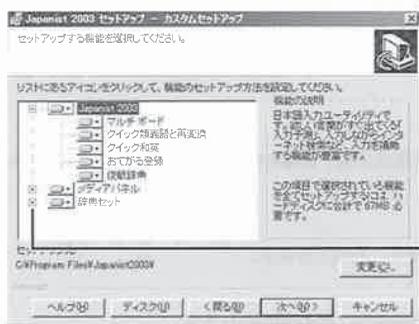
4 Japanist をセットアップするドライブを選択し、[次へ] をクリックします。「セットアップするドライブ」の をクリックすると、セットアップ先フォルダを変更できます。

続いて、手順 10 (P.15) へ進んでください。

「カスタムセットアップ」を選択した場合は、この画面は表示されません。手順 5 へ進んでください。



5 セットアップする機能の左のをクリックして各機能のセットアップ方法を選択し、[次へ] をクリックします。



+をクリックすると、サブ機能が表示されます。個々にセットアップ方法を設定できます。

■Japanist 2003■

日本語入力ユーティリティ「Japanist」本体です。

欲しい言葉がすぐ出てくる「入力予測」や、入力しながらインターネット検索など、入力を補助する機能が豊富です。

マルチボード

マウスやペンだけで文字を入力できる「手書き入力」や、読めない漢字や難しい漢字などを簡単に入力できる「手書き検索」「部首検索」「画数検索」などが利用できます。

クイック類義語と再変換

よみを変換中に、日本語表現に迷ったとき、簡単に類義語の一覧を表示して入力できます。また、誤って入力した文字列をよみに戻して、再変換することもできます。

クイック和英

入力中に簡単に和英変換して一覧を表示し、英単語を入力できます。例えば、「学習」と入力して和英変換すると、「study」「learn」「learning」などから選択して変換できます。

おてがる登録

手持ちの文書などから、普段よく使う単語を抽出して、自動的に単語登録を行ったり、ホームページアドレス／電子メールアドレス／プログラム名を一括登録したりできます。

俊敏辞典

EPWING形式の電子書籍をタスクバーから素早く検索できる「俊敏辞典 3,000」を用意しています。

■メディアパネル■

郵便番号辞書検索

地名から郵便番号や住所を検索したり、郵便番号から住所を検索したりできます。

クリップアート検索

クリップアート集から、お気に入りのクリップアートを選択して、さまざまな文書に貼り付けることができます。

辞書検索

添付の辞書や市販のEPWING形式の電子書籍を検索し、表示します。図やイメージも表示できます。

■辞典セット■

メディアパネルや俊敏辞典などで検索、利用できます。

学研ビジネスマン必携辞典

四字熟語辞典 / カタカナ新語辞典の2つの辞典があります。

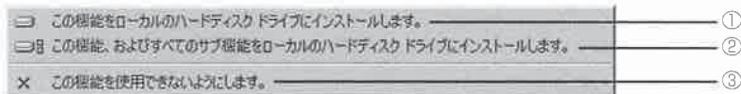
学研パーソナル統合辞典

パーソナル現代国語辞典 / パーソナル英和辞典 / パーソナル和英辞典 / パーソナル版漢字辞典の4つの辞典があります。

三省堂必携辞書

必携類語実用辞典 / 必携故事ことわざ・慣用語辞典の3つの辞典（書籍データとしては2つ）があります。

セットアップ方法には次の種類があります。



- ① 選択している機能のみがセットアップされます。
- ② 選択している機能と、その下にあるサブ機能すべてがセットアップされます。
- ③ 選択している機能をセットアップしません。また、すでにセットアップされている機能を変更する場合は、選択している機能をローカルのハードディスクドライブから削除します。



- ・ 学研ビジネスマン必携辞典、学研パーソナル統合辞典、三省堂必携辞書は、Japanist 2002 添付の学研ビジネスマン必携辞典 2002、学研パーソナル統合辞典 2002、三省堂必携辞書 2002 と同じものです。Japanist 2002 添付の辞典がインストールされている場合は、Japanist 2003 添付の辞典に置き換わります。
- ・ 学研パーソナル統合辞典は、Japanist V1.0 などに付属していた学研統合辞書の内容を充実させた辞典です。2つの辞典を合わせて使うこともできますが、セットアップ開始後に表示されるダイアログ (P.15 参照) で、学研統合辞書をアンインストールすることをお勧めします。
また、Japanist V1.0 に付属していた三省堂必携辞書は新しい版数の辞書にアップデートされます。



[変更]をクリックすると、選択している機能のセットアップフォルダの指定画面が表示され、フォルダの一覧から指定できます。その際、「フォルダ名」に必ずセットアップ先のフォルダを指定してください(例:C:\¥Japanist2003)。なお、ドライブの直下(C:\¥など)にはセットアップできません。

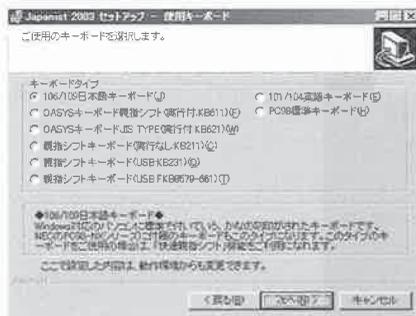
セットアップ先の初期値

- | | |
|-----------------|---|
| ・ Japanist 2003 | C:\¥Program Files¥Japanist2003¥ |
| ・ メディアパネル | C:\¥Program Files¥MediaPanel¥ |
| ・ 学研ビジネスマン必携辞典 | C:\¥Program Files¥epwing¥gakken¥business¥ |
| ・ 学研パーソナル統合辞典 | C:\¥Program Files¥epwing¥gakken¥personal¥ |
| ・ 三省堂必携辞書 | C:\¥Program Files¥epwing¥sansei¥hikkei¥ |

6 お使いのキーボードを選択し、【次へ】をクリックします。

一覧にない場合は、お使いのキーボードに似たタイプを選択してください。

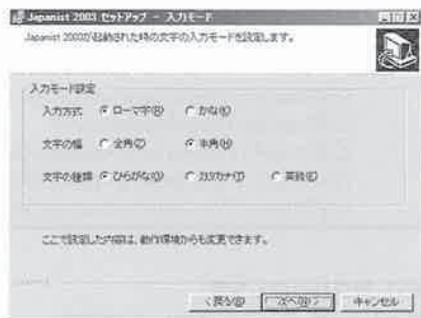
すでにJapanist 2003がセットアップされている場合は、この画面は表示されません。手順10へ進んでください。



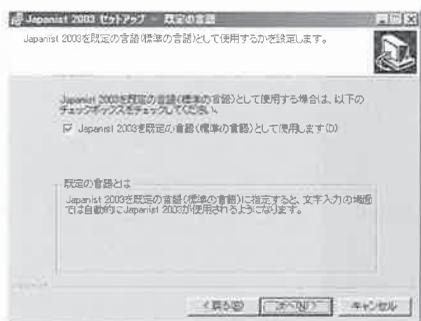
選択するキーボードとWindowsシステムの組み合わせにより、キーボードドライバの組み込みが必要です。

キーボードドライバの組み込みは、P.24「OASYSキーボード／親指シフトキーボードを使う」を参照してください。

- 7 入力モードの初期値を選択して、【次へ】をクリックします。
Japanist が起動されたときの入力モードの初期状態を指定します。

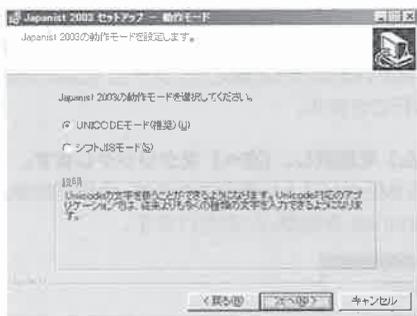


- 8 既定の言語として使用するかどうかを設定して、【次へ】をクリックします。
チェックボックスをチェックすると、文字入力の際に Japanist を常に使用できます。



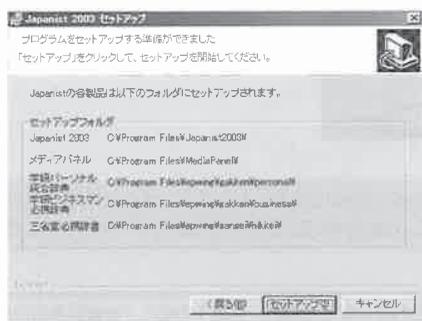
9 Japanist の動作モードを選択し、[次へ] をクリックします。

動作モードは、Japanist で使用する文字のコード系です。コード系によって入力できる文字の種類が異なります。「UNICODEモード」の方が入力できる文字の種類が多くなります。



10 セットアップ内容を確認し、[セットアップ] をクリックします。

ファイルのコピーが始まり、コピーの経過が表示されます。
[キャンセル] をクリックすると、セットアップが中断されます。



「学研統合辞書をアンインストールすることをお勧めします」のダイアログが表示された場合は、[いいえ] をクリックしてアンインストールすることをお勧めします (P.12 参考を参照)。

11 [完了] をクリックします。

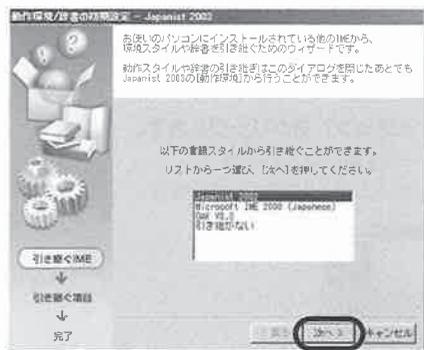
セットアップが終了します。
再起動するかどうかのメッセージが表示された場合は、「再起動する」を選択して Windows を再起動してください。
続いて、環境移行の設定を行います。P.16 に進んでください。

③ 環境を移行する

Japanist をセットアップ後やパソコン再起動時に、環境スタイルや辞書を引き継ぐウィザードが表示されます。旧バージョンの Japanist や既存の日本語入力システム（OAK や MS-IME など）で使っていた環境を Japanist に移行できます。

1 引き継ぐ IME（日本語入力システム）を選択し、[次へ] をクリックします。

パソコンにインストールされている IME がリストに表示されます。今までお使いだった IME を選択すると、違和感なく Japanist をお使いいただけます。



ここでは OAK および Japanist 以外の日本語入力システムからの辞書移行はできません。環境の移行を行ったあと、Japanist を起動してから辞書ツールキットで行います。



Japanist 2002 の俊敏辞典をお使いだった場合、手順 1 の前に「俊敏辞典の自動起動解除」のダイアログが表示される場合があります。Japanist 2002 の俊敏辞典の自動起動をやめる場合は、[OK] をクリックします。



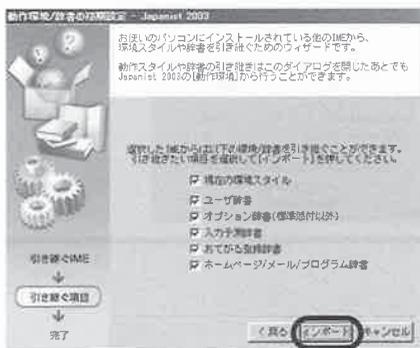
「動作環境/辞書の初期設定」ダイアログは、セットアップ後やパソコンを再起動時に表示されます（ログオン画面時に表示されることもあります）。

ここで「引き継がない」を選択したり、[キャンセル] をクリックして終了させたりしても、次の手順であとから表示させることができます。

- ①入力モードのをクリックし、動作環境ダイアログを表示します。
- ②[簡易表示] をクリックし、[詳細表示] にします。
- ③「[便利な玉手箱]」の「[移行ウィザードを起動]」をクリックします。
手順1の画面が表示できます。



2 選択したIMEの引き継ぐ項目をチェックし、[インポート] をクリックします。



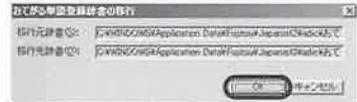
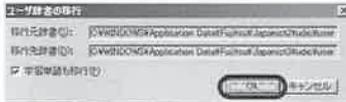
「現在の環境スタイル」をチェックした場合で、移行先スタイル名がすでに存在するときには、上書きを確認する旨のメッセージが表示されます。メッセージを確認して[OK]または[キャンセル]をクリックします。



- ・処理中は入力予測の候補が表示されない旨のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。



- ・「ユーザ辞書」「入力予測辞書」をチェックした場合、移行先の辞書のサイズによっては移行に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。メッセージを確認して[OK]をクリックします。
- ・「ユーザ辞書」および「おてがる登録辞書」をチェックした場合は、○○辞書移行のダイアログが表示されます。



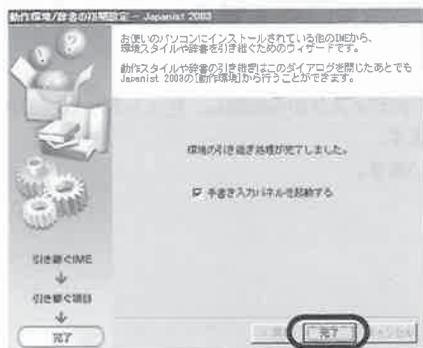
それぞれ [OK] をクリックします。処理中は入力予測の候補が表示されない旨のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。

移行元のOAKやJapanistが使われているとメッセージが表示されます。その場合は [OK] をクリックし、OAK や Japanist を使用しているアプリケーションをすべて終了させてください。

辞書移行が終わると、結果のダイアログが表示されるので、[閉じる] をクリックします。



- 3 引き続き完了のメッセージが表示されたら、**[完了]** をクリックします。
「手書き入力パネルを起動する」をチェックすると、手書き入力パネルが表示されます。



インストール時にキーボードタイプを次のいずれかに設定した場合は、手順3の画面に「親指シフトキーボードを使用するには、個別の設定が必要です。設定すべき項目の紹介ページを開きます。」のチェック項目が追加されます。

- ・ OASYS キーボード親指シフト (実行付: KB611)
- ・ OASYS キーボード JIS TYPE (実行付: KB621)
- ・ 親指シフトキーボード (実行なし: KB211)

チェックすると、お使いのブラウザに設定のガイドが表示されます。

4 セットアップした機能を削除する (アンインストール)

セットアップしたJapanistの機能をハードディスクから削除し、セットアップ前の状態に戻します。これをアンインストールといいます。

アンインストールは、次の機能単位で行います。

- ・ Japanist 2003
- ・ Japanist メディアパネル
- ・ 学研ビジネスマン必携辞典
- ・ 学研パーソナル総合辞典
- ・ 三省堂必携辞書

ここでは、Japanist 2003 をアンインストールする手順を説明します。



Windows起動時にWindowsログオン画面が表示される環境の場合は、Japanistをインストールした時と同じユーザ名でログオンした状態で、アンインストールを行ってください。

1 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして、[コントロールパネル] をクリックします。

Windows XPの場合は、[スタート] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

2 「コントロールパネル」で、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

Windows XPの場合は、[プログラムの追加と削除] アイコンをクリックします。

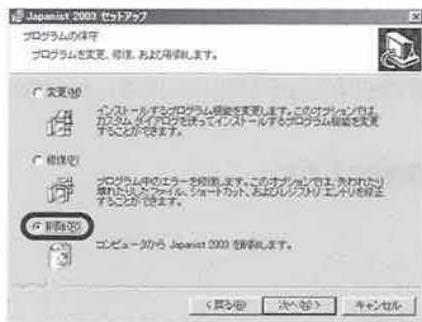
3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」で、[インストールと削除] ([セットアップと削除]) タブに表示されている「Japanist 2003」をクリックし、[追加と削除] をクリックします。

Windows 2000、Windows XPの場合は、「現在インストールされているプログラム」のリストボックスに表示されている「Japanist 2003」を選択し、[削除] をクリックします。メッセージダイアログが表示されるので、[はい] をクリックしてください。アンインストールが実行されます。ただし、ご使用の状況によっては、再起動を要求するメッセージが表示される場合があります (P.21 注意を参照)。



ご使用のOSの状態によっては、「アプリケーションの追加と削除」からJapanistの変更や削除を実行しようとする、JapanistのCD-ROMが要求される場合があります。画面表示にしたがって、JapanistのCD-ROMをセットしてください。

- 4 **【次へ】** をクリックします。
- 5 **「削除」** を選択して、**【次へ】** をクリックします。



その他の機能について説明します。

変更

Japanist の各機能の状態を変更する場合に選択します。セットアップしなかった機能を追加したり、セットアップされている機能を削除したりすることができます。機能によっては、「変更」が選択できないものがあります。

修復

Japanist が正しく動作しない場合に選択します。誤って削除してしまったファイルなどが修復されます。「修復」セットアップを実行しても、Japanist が正しく動作しない場合は、一旦 Japanist をアンインストールしてから、再度セットアップしてください。

6 **【削除】** をクリックします。

アンインストールが始まります。



ご使用の状況によっては、再起動を要求するメッセージが表示される場合があります。この場合は、**【OK】** をクリックしシステムを再起動してください。再起動後にアンインストールを行うメッセージが表示されます。**【OK】** をクリックすると、アンインストールが自動的に実行されます（アンインストールは、数分間かかる場合があります）。

7 **「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」** の **【OK】** をクリックします。

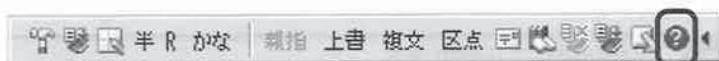
5 オンラインヘルプを使う

本製品は、オンラインヘルプで機能の概要や使いかたなど説明しています。Japanist を操作中に、簡単に参照できます。

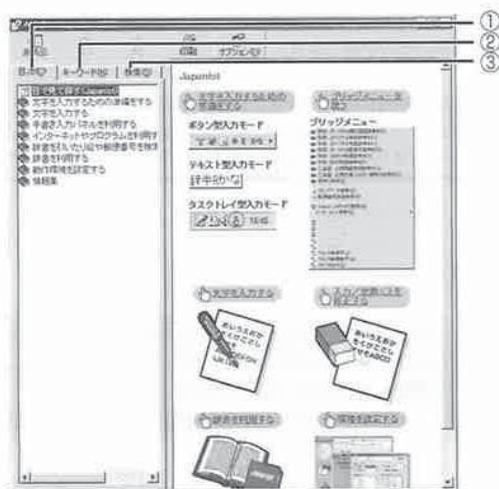
- 1 入力モードの  をクリックし、拡張表示にします。



- 2  をクリックします。



Japanist のヘルプが表示されます。



① [目次] タブ

何を行いたいかが決まっている場合は、目次から説明を探せます。

 マークをダブルクリックすると、 マークが表示されます。

 マークのついたタイトルをクリックすると、右側に説明が表示されます。

②【キーワード】 タブ

行いたい操作の機能名がわかっている場合は、キーワードを入力して、【Enter】を押すと、説明が表示できます。

キーワードに対して複数の説明トピックがあるときは、「該当するトピック」ダイアログが表示されます。その中から説明トピックを選択します。

③【検索】 タブ

あいまいな機能名しかわからない場合などは、【検索】 タブのキーワード入力域にキーワードを入力し、【Enter】を押します。

キーワードに該当するすべてのトピックタイトルが表示されるので、そこから表示するトピックをダブルクリックします。



- ・ ヘルプは、入力モードの  をクリックして表示された動作環境ダイアログの [ヘルプ] から呼び出せます。
- ・ Japanist インストール先の「help」フォルダの中に「readme.txt」があります。Japanist のいろいろな情報が記述されていますので活用してください。

6

OASYS キーボード/親指シフトキーボードを使う

(KB611, KB621, BIBLO, LIFEBOOK) (KB211)

OASYS キーボードや親指シフトキーボード（USB 親指シフトキーボードは除く）をお使いになる場合には、次の設定が必要です。

キーボードドライバの設定

キーボードの種類とWindowsシステムとの組み合わせにより、キーボードドライバの組み込みが必要になります。下記の表を参考に、組み込みを行ってください。

キーボードの種類	OASYS キーボード親指シフト (実行付き: KB611) OASYS キーボード JIS TYPE (実行付き: KB621) FMV-BIBLO シリーズ (親指シフトキーボードモデル) FMV-LIFEBOOK シリーズ (親指シフトキーボードモデル)	親指シフトキーボード (実行なし: KB211)
OSの種類		
Windows Me	P.25を参照	キーボードドライバの組み込みは必要ありません
Windows 98	P.25を参照	
Windows XP	P.27を参照	P.32を参照
Windows 2000	P.29を参照	P.32を参照
Windows NT4.0	P.30を参照	P.33を参照



- ・ キーボードを変更する際は、キーボードドライバの組み込みを行ったあとに、キーボード本体を接続してください。
ただし、PS/2インターフェースのキーボードを接続していない場合は、一旦パソコンの電源を切って、PS/2インターフェースのキーボードを接続してください。そのあとパソコンの電源を入れて、キーボードドライバの組み込みを行ってください。
- ・ キーボードドライバの組み込みの際には、「HID互換キーボード」または「HIDキーボードデバイス」は選択しないでください。
- ・ Windows XP/Windows 2000/Windows NT4.0でキーボードドライバを変更する場合は、あらかじめ管理者の権限を有しているユーザでログインしてください。
- ・ Japanistの製品CD-ROMの「Drivers」フォルダ内にある「Setup.html」(親指シフトキーボードの設定ガイド)に画面付きの説明を用意していますので活用してください。

Japanistの動作環境の設定

• Japanistのセットアップ時に設定する場合

セットアップ時のキーボードの選択画面でキーボードの種類を選択します。

→ P.13の手順6「お使いのキーボードを選択し、[次へ] をクリックします。」を参照。

• Japanistのセットアップ後に設定する場合

Japanistの動作環境で、キーボードの種類を設定します。

→ P.34の「Japanistの動作環境を変更する」を参照。



106/109日本語キーボードに戻す場合

OASYSキーボード/親指シフトキーボードの設定から106/109日本語キーボードの設定へ戻す場合は、下記の表を参考に設定を変更してください。

Windows Me	P.35を参照
Windows 98	P.35を参照
Windows XP	P.36を参照
Windows 2000	P.37を参照
Windows NT4.0	P.38を参照

USB親指シフトキーボードをお使いの場合

親指シフトキーボード(USB)(KB231)およびUSB親指シフトキーボード(コンパクト)(FKB8579-661)をお使いの場合は、ドライバの組み込みは必要ありません。

また、動作環境の設定も初期状態では、「キーボード」の「USB親指シフトキーボードの接続/切断を自動判定する」にチェックがついているため、設定は自動で行われます。特に設定は必要ありません。

OASYSキーボード(実行付)をWindows 98/Windows Meでお使いの場合

- 1 **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントして、**[コントロールパネル]** をクリックします。
- 2 **[システム]** アイコンをダブルクリックします。
Windows Meで**[システム]** アイコンが表示されていない場合は、左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックします。
- 3 **[デバイスマネージャ]** タブをクリックします。
- 4 **[キーボード]** アイコンの左側にある**[+]** をクリックし、表示されたキーボード(「106日本語(AO1)キーボード(Ctrl+英数)」など)を選択し、**[プロパティ]** をクリックします。
「HID互換キーボード」または「HIDキーボードデバイス」は選択しないでください。

- 5 【ドライバ】 タブをクリックします。
- 6 【ドライバの更新】 をクリックします。
- 7 Windows 98 の場合は、内容を確認し、【次へ】 をクリックします。
Windows Me の場合は、「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」を
選択し、【次へ】 をクリックします。
- 8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択
する」を選択し、【次へ】 をクリックします。
- 9 【ディスク使用】 をクリックします。
- 10 CD-ROM ドライブに Japanist の CD-ROM をセットし、【参照】 をクリックします。



自動的に Japanist のセットアッププログラムが起動された場合は、【キャンセル】 をク
リックして、Japanist のセットアップを終了させてください。

- 11 「ドライブ」の一覧で、CD-ROM ドライブを選択します (例: [e:])。
- 12 「フォルダ」の一覧で「Drivers」フォルダをダブルクリックし、「95&98&Me」フォ
ルダをダブルクリックします。
- 13 「ファイル名」に「oaskbdrv.inf」が表示されていることを確認し、【OK】 をクリッ
クします。
- 14 「配布ファイルコピー元」(Windows Me では「製造元ファイルのコピー元」) に指定
したフォルダのパスが表示されていることを確認し、【OK】 をクリックします。
- 15 「モデル」の一覧から、お使いのキーボードに対応するドライバを選択し、【次へ】 をク
リックします。

キーボードの種類	選択するドライバ
FMV-KB611	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト Type(実行付)
FMV-KB621	FUJITSU OASYS キーボード JIS Type(実行付)
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO LIFEBOOK シリーズ)
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO LIFEBOOK シリーズ)

「モデル」の一覧に、キーボード型やパソコン本体の型名など、お使いのものと合致した
ものがある場合は、そちらを選択してください。



「ドライバ更新の警告」という警告メッセージが表示されることがありますが、トラブルが
発生することはありませんので 【はい】 をクリックしてください。

- 16 **【次へ】 をクリックします。**
ファイルのコピーが動作します。
- 17 **デバイスドライバの更新ウィザードで【完了】 をクリックします。**
- 18 **「システム設定の変更」メッセージ(コンピュータの再起動の確認)が表示されたら、【いいえ】 をクリックします。**
再起動するメッセージが表示されない場合は、【閉じる】 をクリックし、「コントロールパネル」を閉じます。
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、OASYS キーボードをパソコン本体に接続します。

OASYSキーボード(実行付)をWindows XPでお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

既にOASYSキーボードドライバをお使いの場合は、次の手順を参考にし、いったん「101/102 英語キーボード」または「Microsoft Natural PS/2 キーボード」のドライバを設定したあと、改めて次の手順でOASYSキーボードドライバを設定してください。

- 1 **【スタート】 をクリックし、【コントロールパネル】 をクリックします。**
- 2 **【プリンタとその他のハードウェア】 アイコンをクリックします。**
- 3 **【キーボード】 アイコンをクリックします。**
- 4 **【ハードウェア】 タブをクリックし、「名前」に表示されたキーボード(「日本語 PS/2 キーボード(106/109 キー Ctrl+ 英数)」など)を選択し、【プロパティ】 をクリックします。**
「HID 互換キーボード」または「HID キーボードデバイス」は選択しないでください。
- 5 **【ドライバ】 タブをクリックします。**
- 6 **【ドライバの更新】 をクリックします。**
- 7 **「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックして、【次へ】 をクリックします。**
- 8 **「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックして、【次へ】 をクリックします。**
- 9 **【ディスク使用】 をクリックします。**

- 10 CD-ROMドライブにJapanistのCD-ROMをセットし、**【参照】**をクリックします。



自動的にJapanistのセットアッププログラムが起動された場合は、**【キャンセル】**をクリックして、Japanistのセットアップを終了させてください。

- 11 **【ファイルの場所】**で、CD-ROMドライブを選択します(例:「E:」)。
- 12 **【フォルダ】**の一覧で**【Drivers】**フォルダをダブルクリックし、**【2000&XP】**フォルダをダブルクリックします。
- 13 **【ファイル名】**の一覧で**【F5DNK611.INF】**が表示されていることを確認し、**【開く】**をクリックします。
- 14 **【OK】**をクリックします。
- 15 **【モデル】**の一覧から、お使いのキーボードに対応するドライバを選択し、**【次へ】**をクリックします。

キーボードの種類	選択するドライバ
FMV-KB611	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフトType(実行付)
FMV-KB621	FUJITSU OASYS キーボード JIS Type(実行付)
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO シリーズ)
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO シリーズ)



「ハードウェアのインストール」(Windows ロゴテストに合格していません)という警告メッセージが表示されますがトラブルが発生することはありませんので、**【続行】**をクリックします。

ファイルのコピーが動作します。



ファイルのコピー時に、「ファイル上書きの確認」ダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、**【はい】**をクリックしてください。

- 16 **【完了】**をクリックします。
- 17 **【閉じる】**をクリックします。
- 18 **【システム設定の変更】**メッセージ(コンピュータの再起動の確認)で**【いいえ】**をクリックします。
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、OASYS キーボードをパソコン本体に接続します。

OASYSキーボード (実行付) をWindows 2000でお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

既にOASYSキーボードドライバをお使いの場合は、次の手順を参考にし、いったん「101/102英語キーボード」または「Microsoft Natural PS/2 キーボード」のドライバを設定したあと、改めて次の手順でOASYSキーボードドライバを設定してください。

- 1 **【スタート】** をクリックし、**【設定】** をポイントして、**【コントロールパネル】** をクリックします。
- 2 **【キーボード】** アイコンをダブルクリックします。
- 3 **【ハードウェア】** タブをクリックし、「**デバイス**」に表示されたキーボード（「**日本語PS/2キーボード（106/109キー Ctrl+英数）**」など）を選択し、**【プロパティ】** をクリックします。
「HID 互換キーボード」または「HID キーボードデバイス」は選択しないでください。
- 4 **【ドライバ】** タブをクリックします。
- 5 **【ドライバの更新】** をクリックします。
- 6 **【次へ】** をクリックします。
- 7 **「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」** をチェックして、**【次へ】** をクリックします。
- 8 **【ディスク使用】** をクリックします。
- 9 **CD-ROM ドライブにJapanistのCD-ROMをセットし、【参照】** をクリックします。



自動的にJapanistのセットアッププログラムが起動された場合は、**【キャンセル】** をクリックして、Japanistのセットアップを終了させてください。

- 10 **「ファイルの場所」** で、**CD-ROM ドライブ** を選択します（例：「**E:**」）。
- 11 **「フォルダ」** の一覧で「**Drivers**」フォルダをダブルクリックし、「**2000&XP**」フォルダをダブルクリックします。
- 12 **「ファイル名」** に「**F5DNK611.INF**」が表示されていることを確認し、**【開く】** をクリックします。
- 13 **【OK】** をクリックします。

- 14 「モデル」の一覧から、お使いのキーボードに対応するドライバを選択して、[次へ] をクリックします。

キーボードの種類	選択するドライバ
FMV-KB611	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフトType(実行付)
FMV-KB621	FUJITSU OASYS キーボード JIS Type(実行付)
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO シリーズ)
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO シリーズ)



「ドライバの更新警告」という警告メッセージが表示されますが、トラブルが発生することはありませんので、[はい] をクリックします。

- 15 [次へ] をクリックします。

- 16 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されますので、[はい] をクリックします。
ファイルのコピーが動作します。



ファイルのコピー時に、「ファイル上書きの確認」ダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は [はい] をクリックしてください。

- 17 [完了] をクリックします。

- 18 キーボードのプロパティの [閉じる] をクリックします。

- 19 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で [いいえ] をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、OASYS キーボードをパソコン本体に接続します。

OASYS キーボード (実行付) を Windows NT4.0 でお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [キーボード] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [全般] タブをクリックします。
- 4 [変更] をクリックします。
- 5 [ディスク使用] をクリックします。

6 CD-ROMドライブにJapanistのCD-ROMをセットし、[参照]をクリックします。



自動的にJapanistのセットアッププログラムが起動された場合は、[キャンセル]をクリックして、Japanistのセットアップを終了させてください。

- 7 「ファイルを見つけます」(デバイスが準備できていません)のメッセージが表示された場合は、[キャンセル]をクリックします。
- 8 「ファイルを見つけます」の一覧でCD-ROMドライブを選択します(例:「E:」)。
- 9 「フォルダ」の一覧で「Drivers」フォルダをダブルクリックし、「Nt40」フォルダをダブルクリックします。
- 10 「ファイル名」に「F5dnk611.inf」が表示されていることを確認し、[開く]をクリックします。
- 11 「配布ファイルのコピー元」に指定したフォルダのパスが表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。
- 12 「モデル」の一覧から、お使いのキーボードに対応するドライバを選択し、[OK]([適用])をクリックします。

キーボードの種類	選択するドライバ
FMV-KB611	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト Type(実行付)
FMV-KB621	FUJITSU OASYS キーボード JIS Type(実行付)
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO LIFEBOOK シリーズ)
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト(BIBLO LIFEBOOK シリーズ)

「モデル」の一覧に、キーボード型やパソコン本体の型名など、お使いのものと合致したものがある場合は、そちらを選択してください。



「デバイスのインストールの確認」が表示されますがトラブルが発生することはありませんので、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが動作します。

- 13 [閉じる]をクリックします。
- 14 「システム設定の変更」メッセージ(コンピュータの再起動の確認)が表示されたら、[いいえ]をクリックします。
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、OASYS キーボードをパソコン本体に接続します。



再起動したあとにP.30の手順1~3を行って、「キーボードのプロパティ」の[全般]タブで「キーボードの種類」が変更されたか確認してください。変更されていない場合は、P.30の手順4から再度組み込みを行ってください。

親指シフトキーボード(実行なし:KB211)をWindows XPでお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 P.27の手順1～8を操作します。
- 2 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックをはずします。
- 3 「製造元」の一覧から「Fujitsu」を選択し、「モデル」の一覧から「富士通 FMV 親指シフト PS/2 キーボード」を選択します。
- 4 【次へ】をクリックします。
ファイルのコピーが動作します。



ファイルのコピー時に、「ファイル上書きの確認」ダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、【はい】をクリックしてください。

- 5 【完了】をクリックします。
- 6 【閉じる】をクリックします。
- 7 「システム設定の変更」メッセージ(コンピュータの再起動の確認)で【いいえ】をクリックします。
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをパソコン本体に接続します。

親指シフトキーボード(実行なし:KB211)をWindows 2000でお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 P.29の手順1～7を操作します。
- 2 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」をチェックします。
- 3 「製造元」の一覧から「Fujitsu」を選択し、「モデル」の一覧から「富士通 FMV 親指シフト PS/2 キーボード」を選択します。
- 4 【次へ】をクリックします。



「ドライバの更新警告」という警告メッセージが表示されますが、トラブルが発生することはありませんので、【はい】をクリックします。

- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [完了] をクリックします。
- 7 キーボードのプロパティの [閉じる] をクリックします。
- 8 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で [いいえ] をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをパソコン本体に接続します。

親指シフトキーボード (実行なし:KB211) を Windows NT4.0 でお使いの場合

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 P.30 の手順 1 ~ 4 を操作します。
- 2 「すべてのデバイスを表示」 をクリックします。
- 3 「モデル」の一覧から、「富士通 FMV 親指シフトキーボード」を選択し、[OK] をクリックします。
- 4 「全般」の確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。
システム CD-ROM を要求するメッセージが表示された場合は、指示に従ってシステム CD-ROM をセットして続行してください。
- 5 キーボードのプロパティの [閉じる] をクリックします。
- 6 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で [いいえ] をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをパソコン本体に接続します。



再起動したあとに P.30 の手順 1 ~ 3 を行って、「キーボードのプロパティ」の [全般] タブで「キーボードの種類」が変更されたか確認してください。変更されていない場合は、[変更] ボタンをクリックして、P.33 の手順 2 から再度キーボードドライバの設定を行ってください。

「富士通 FMV 親指シフトキーボード」の注意事項については、system32 フォルダ内の「readme.wri」に書かれている「Windows NT についての追加情報」を参照してください。

Japanist の動作環境を変更する

OASYSキーボード/親指シフトキーボードで文字を入力しやすくするためにJapanistの環境を設定します。セットアップ時のキーボード選択画面 (P.13 参照) でお使いのキーボードを選択した場合は、すでに環境は設定されています。

- 1 **【スタート】** をクリックし **【プログラム】**、**【Japanist 2003】** をポイントして、**【動作環境】** をクリックします。
- 2 **【簡易表示】** をクリックし、**【詳細表示】** にします。
- 3 **【動作環境の設定】** の **【キーボード】** をクリックします。
- 4 **【キーボード指定】** で  をクリックし、一覧からお使いのキーボードを選択します。「OASYSキーボード (実行付)」、「親指シフトキーボード (実行なし:KB211)」のどちらかを選択します。

キーボードの種類	選択するキーボード
FMV-KB611	OASYS キーボード(実行付)
FMV-KB621	OASYS キーボード(実行付)
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	OASYS キーボード(実行付)
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	OASYS キーボード(実行付)
FMV-KB211	親指シフトキーボード(実行なし:KB211)

- 5 キーボードドライバに関する設定を確認するメッセージが表示されたら、内容を確認して **【OK】** をクリックします。
- 6 キー設定の初期化に関する確認メッセージが表示されたら、**【OK】** をクリックします。
- 7 親指シフトに関する設定を自動で行うかを確認するメッセージが表示されたら、内容を確認して **【OK】** または **【キャンセル】** をクリックします。

キーボードの機種	推奨するボタン
FMV-KB611	【OK】
FMV-KB621	【キャンセル】
FMV-BIBLO (親指シフトキーボードモデル)	【OK】
FMV-LIFEBOOK (親指シフトキーボードモデル)	【OK】
FMV-KB211	【OK】

- 8 「OASYSキーボード(実行付)」に設定した場合は、動作環境ダイアログの【OK】をクリックします。
「親指シフトキーボード(実行なし:KB211)」に設定した場合は続けて操作を行います。
①「動作環境の設定」の「文字入力」をクリックします。
②「初期入力状態」で「自動的に起動する」のチェックをはずします。
③動作環境ダイアログの【OK】をクリックします。

106/109日本語キーボードへ戻す (Windows 98/Windows Meの場合)

- 1 Japanistの動作環境の【詳細表示】の「動作環境の設定」で「キーボード」をクリックします。
P.34の手順1～3を参照してください。
- 2 「キーボード指定」で  をクリックし、「106/109日本語キーボード」を選択します。
- 3 キーボードドライバに関する設定を確認するメッセージが表示されたら、内容を確認して【OK】をクリックします。
- 4 キー設定の初期化に関する確認メッセージが表示されたら、【OK】をクリックします。
- 5 動作環境ダイアログの【OK】をクリックします。
- 6 【スタート】をクリックし、【設定】をポイントして、【コントロールパネル】をクリックします。
- 7 【システム】アイコンをダブルクリックします。
Windows Meで【システム】アイコンが表示されていない場合は、左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックします。
- 8 【デバイスマネージャ】タブをクリックします。
- 9 【キーボード】アイコンの左側にある「+」をクリックし、表示されたキーボード (FUJITSU OASYSキーボード 親指シフト Type (実行付)) など) を選択し、【プロパティ】をクリックします。
「HID 互換キーボード」または「HID キーボードデバイス」は選択しないでください。
- 10 【ドライバ】タブをクリックします。
- 11 【ドライバの更新】をクリックします。
- 12 Windows 98の場合は、内容を確認し、【次へ】をクリックします。
Windows Meの場合は、「ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)」を選択して、【次へ】をクリックします。

- 13 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 14 「モデル」の一覧から「106日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」などを選択し、[次へ] をクリックします。
- 15 内容を確認して [次へ] をクリックします。
システムCD-ROM要求のメッセージが表示された場合には、指示にしたがってシステムCD-ROMをセットして [OK] をクリックします。
ファイルのコピーが動作します。
「ファイルのコピー」のメッセージが表示された場合は、システムCDのWindowsフォルダ (例 :E:¥Win98) を入力して、[OK] をクリックします。
ファイルのコピーが再開します。
- 16 デバイスドライバの更新ウィザードで、[完了] をクリックします。
- 17 「システム設定の変更」メッセージ(コンピュータの再起動の確認)が表示されたら、[いいえ] をクリックします。
再起動するメッセージが表示されない場合は、[閉じる] をクリックし、「コントロールパネル」を閉じます。
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをはずし、一般的な日本語キーボード(106/109日本語キーボードなど)をパソコン本体に接続します。

106/109日本語キーボードへ戻す (Windows XPの場合)

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 P.35の手順1～5を操作します。
- 2 P.27の手順1～3を操作します。
- 3 [ハードウェア] タブをクリックし、「名前」に表示されたキーボード (「FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト Type (実行付)」など) を選択し、[プロパティ] をクリックします。
[HID 互換キーボード] または「HID キーボードデバイス」は選択しないでください。
- 4 [ドライバ] タブをクリックします。
- 5 [ドライバの更新] をクリックします。
- 6 「一覧または特定の場所からインストールする」をチェックして、[次へ] をクリックします。
- 7 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックして、[次へ] をクリックします。

- 8 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックをはずします。
- 9 「製造元」の一覧から「(標準キーボード)」を選択し、「モデル」の一覧から「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+英数)」を選択します。
- 10 「次へ」をクリックします。
ファイルのコピーが動作します。



ファイルのコピー時に、「ファイル上書きの確認」ダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- 11 「完了」をクリックします。
- 12 「閉じる」をクリックします。
- 13 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で「いいえ」をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをはずし、一般的な日本語キーボード(106/109 日本語キーボードなど)をパソコン本体に接続します。

106/109日本語キーボードへ戻す (Windows 2000の場合)

複数のユーザ環境を設定している場合は、あらかじめ管理者の権限を持っているユーザ名でログインしてください。

- 1 P.35の手順 1～6 を操作します。
- 2 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイス」に表示されたキーボード (「FUJITSU OASYS キーボード 親指シフト Type (実行付)」など) を選択し、「プロパティ」をクリックします。
「HID 互換キーボード」または「HID キーボードデバイス」は選択しないでください。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」をクリックします。
- 6 内容を確認し、「次へ」をクリックします。
- 7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 8 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択します。

- 9 「製造元」の一覧から「(標準キーボード)」を選択し、「モデル」の一覧から「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl +英数)」などを選択し、「次へ」をクリックします。
- 10 「ドライバの更新警告」メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。
- 11 内容を確認して、「次へ」をクリックします。
ドライバのコピーが実行されます。
- 12 「完了」をクリックします。
- 13 「閉じる」をクリックします。
- 14 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で「いいえ」をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをはずし、一般的な日本語キーボード(106/109 日本語キーボードなど)をパソコン本体に接続します。

106/109 日本語キーボードへ戻す (Windows NT4.0 の場合)

- 1 P.35 の手順 1 ~ 6 を操作します。
- 2 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「全般」タブをクリックします。
- 4 「変更」をクリックします。
- 5 「モデル」の一覧から「PC/AT 106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl +英数)」などを選択し、「OK」をクリックします。
- 6 「全般」の確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
システム CD-ROM を要求するメッセージが表示された場合は、指示に従ってシステム CD-ROM をセットして続行してください。
- 7 「閉じる」をクリックします。
- 8 「システム設定の変更」メッセージ (コンピュータの再起動の確認) で「いいえ」をクリックします。
Windows を終了して、パソコンの電源を切ります。
パソコンの電源を切った状態で、親指シフトキーボードをはずし、一般的な日本語キーボード(106/109 日本語キーボードなど)をパソコン本体に接続します。

Japanist 2003
スタートアップガイド

B1WW-5761-01-00

発行日 2003年2月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

Japanist サポートについて

■操作・機能のお問い合わせ窓口

- Japanist サポートセンター

TEL : 045-332-6585

受付時間：月～金 9：00～12：00

13：00～17：00（年末/年始・祝日を除く）

■情報提供窓口

- Japanistホームページ [富士通]
<http://software.fujitsu.com/jp/japanist/>
- FMWホームページ [富士通ミドルウェア]
<http://www.fmw.fujitsu.com/>

■修正モジュール提供窓口

- 富士通パソコン情報ページ (FMWORLD.NET)
<http://www.fmwworld.net/product/lib/index.html#oatool>
- Japanistホームページ内アップデート情報ページ [富士通]
<http://software.fujitsu.com/jp/japanist/update/>
※Japanistの [インターネットアップデート] 機能からも、アップデート情報ページが表示できます。

※ このページの内容は予告なく変更されることがあります。最新情報は「Japanist ホームページ」を参照してください。

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。

B1WW-5761-01



T4988618882897